

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(24)(HP 収載) －300B アンプー

1. 始めに

前方(23)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の 300B シングルアンプへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

前報(22)では、300B シングルアンプから FAL C90EXW へのスピーカー接続ラインへの適用を検討しました。今回は 300B シングルアンプ本体への適用です。

上記 300B シングルアンプのスピーカー接続の主な使用の状況は次のとおりです。300B シングルアンプから Western の単線のスピーカーケーブルを引き出し、ムジカライザー ML-206 を仲介させ、ここで長尺のスピーカーリベラメンテ 2 本に分け、バイワイアリングとして、FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバーに送り出します。スピーカーリベラメンテ 2 本の中央部にはケーブルチューナーを加えており、ムジカライザー ML-206 のマイナス側には自作の仮想アースを繋いでいます。前報(22)では、300B シングルアンプから引き出した単線のスピーカーケーブルに NRF-005T を巻き、FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバーの入力端子のマイナス側のみに NRF-005T を貼り付けました。

今回、300B シングルアンプのどこにどのように NRF-005T の適用を行うかは、いろいろ考えられますが、一応次のようにしてみます。

まず、電源ケーブルについては、前報(23)の事例と同様の木枠にフェライトコアをはめ込んだ録音用ラインフィルターを通してありますので、フェライトコアの内側に NRF-005T を貼ります。



次に、TruPhase から 300B シングルアンプの間に介在させている、バランスアナログアキュライザー BACU-2000 の XLR コネクターに NRF-005T を貼ります。写真の白色の円形のはダンパーフレイクです。



最後にステンレス板の円筒にPulshutを貼って300Bアンプの初段真空管の6DJ8に被せてみます。その際、放熱を考慮して密着させず、全体を覆わないように注意しました。



このことは、以前に実施した、次の写真のような銅のメッシュの真空管カバーに倣ったもので、飛び込みノイズの遮断、ガラスの帯電防止、マイクロフォニック振動のダンプなどを想定したものでした。今回は、飛び込みノイズの遮断を積極的に行わせるように考えました。



3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

最初に上記の NRF-005T の処理なしの状態では聴いておき、ついで上記の NRF-005T の処理の効果を確認します。

NRF-005T の処理なしでも、下記の音源すべてについて、一連の仮想アースと前報(22)のスピーカー接続ラインへの NRF-005T の処理の効果でこれ以上の上乘せ効果は難しいのではないかというレベルに達しています。

LP-12 によるアナログ再生では、下記を試聴しました。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウーンフィル

3ヶ所の NRF-005T の処理に先立ち、300B アンプの初段真空管の 6DJ8 の処理のみで、無伴奏ソナタとパルティータおよび選帝侯のソナタについて予備的に試聴してみました。いずれもこれまでの経過の効果への 6DJ8 の処理の顕著な上乘せ効果は認められませんが、心持ちヴァイオリンは艶と膨らみが乗り、ピアノの響きも豊かになっています。3ヶ所の NRF-005T の処理に拡大しますと、さらなる顕著な上乘せ効果ではありませんが、6DJ8 の処理の効果に若干プラスした感じです。

ワルキューレは3ヶ所の NRF-005T の処理で、オーケストラの音が緻密になり、間接音が捉えられやすくなって、ソプラノやメゾソプラノの前後左右の位置関係が分かりやすくなります。

PC 経由の STAGE+ の再生では、マウリチオ・ポリーニのベートーヴェンの後期のピアノソナタのライブ収録とリサ・パティアシュベリとその仲間によるシューベルトのピアノ5重奏「鱒」を試聴しました。

ベートーヴェンの後期のピアノソナタは、前報(22)の条件で完成度が上がっており、上記3ヶ所への NRF-005T の処理の顕著な上乘せ効果はありません。

ピアノ5重奏「鱒」では、ピアノが前面に出ようになり、コントラバスが明瞭になり、チェロの響きも豊かになって、バランスがよくなり、室内楽しい緊張感が出てきます。

DMR-UBZ1 再生システムでは、下記の BPODCH の再生を行います。

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィル

上記 3 ケ所への NRF-005T の処理の効果でベルリンフィル大ホールに豊かに響く間接音の効果でリアル感が増しています。

前報(22)の 300B シングルアンプから FAL C90EXW へのスピーカー接続ラインへの適用により既に完成度が上がっており、今回の 300B シングルアンプへの適用拡大による上乘せ効果は再生音源に依存することになりました。

4. まとめ

300B シングルアンプの上記 3 ケ所への NRF-005T の処理に関して、前報(22)のスピーカー接続からの若干の上乗せ効果を認めました。

以上